

ドクター訪問

身近な自然を再発見



室谷 智子 先生
(宮城厚生協会 泉病院)

脳卒中や神経難病を専門とする「宮城厚生協会泉病院」(泉区長命ヶ丘)で、「一般内科を担当しています。もともと健康全般を扱う「家庭医療」に興味があつて研修も受けたのですが、

結婚を機に仙台に来てからは、子育てが中心で非常勤医師をしていました。それが、夫の留学に伴つて米国のミシシッピ州に行き、インターン先の大学で「医学を学ぶために亡命してきた」とか「30代で大学に入り直した」という人々と出会い、「私も」という気持ちに。帰国後、再び研修医となり、2018年に念願の「家庭医療専門医」となりました。でも、まだまだ勉強中です。オフの楽しみは、家族と出掛けるアウトドアです。ずっとインドア派でしたが、「密を避けて近場で楽しめるものを」と、



▲泉ヶ岳の桑沼でカヌー遊び

今年デビューしました。にわかには増えたキャンプグッズは、まだ使いこなせていません(笑)。泉ヶ岳や七ツ森など、身近な場所にも素晴らしい自然があることを発見し、感動しています。

名作を味わい尽くす



阿部 達也 先生
(東北医科薬科大学若林病院 病院長)

「東北医科薬科大学若林病院」は若林区大和町にある中核病院です。2016年に前身の「NIT東日本東北病院」から、東北医科薬科大学附属病院の一つとなり、地域医療の充実に加え、

本院(宮城野区福室)との連携と機能分担を図りながら、医学教育と研究も担っています。2019年に回復期リハビリテーション病棟が開設され、回復期機能の充実が当院の特長の一つになりました。休日は昔から映画を見ることが多いです。ジャンルはこだわりませんが、初めて映画館で見て衝撃を受けた「月光仮面」や、友だちに誘われて行って魅了された「マイ・フェア・レディ」など、好きな作品は繰り返し見ます。「ゴッドファーザー」や「チャップリン」のシリー



▲お気に入りの作品

ズは何度見ても発見がある名作です。映画館でしか見られなかった時代から、テレビやDVDで好きなだけ見られるようになったのがうれしくて。自宅には「いつ見るのか」というほどDVDを山積みしています(笑)。